

既存火力発電事業等の統合を反映した JERAの収支水準について

本資料は、2018年2月27日の東京電力フュエル&パワー株式会社と中部電力株式会社による既存火力発電事業等の株式会社JERAへの統合に係る合意を踏まえ、統合後のJERAの収支水準を公表したものである。

既存火力事業統合後のJERAの事業計画については、2019年4月の事業統合開始までに策定し公表する予定。

2018年3月27日

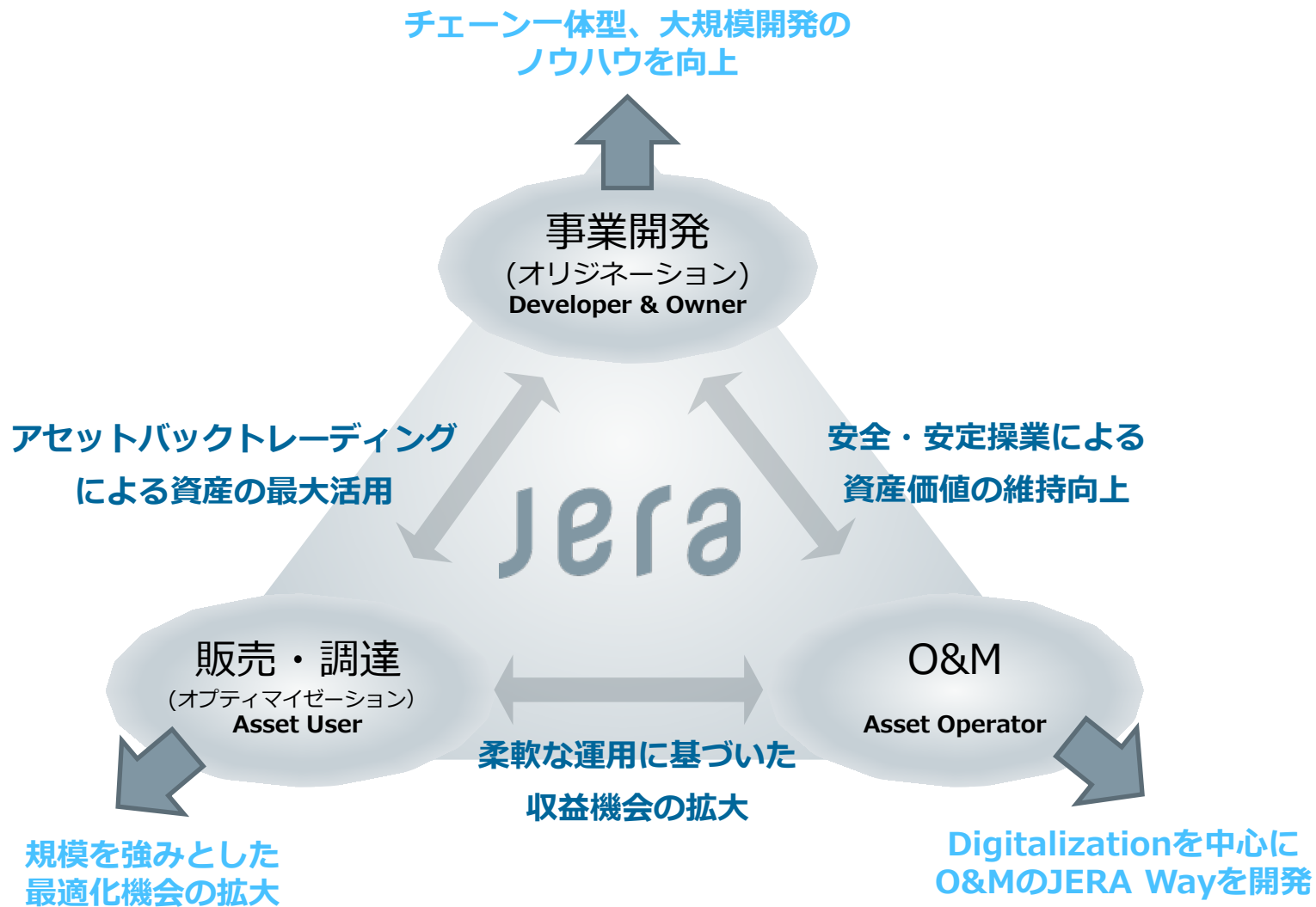
株式会社JERA

東京電力フュエル&パワー株式会社

中部電力株式会社

ビジネスモデル

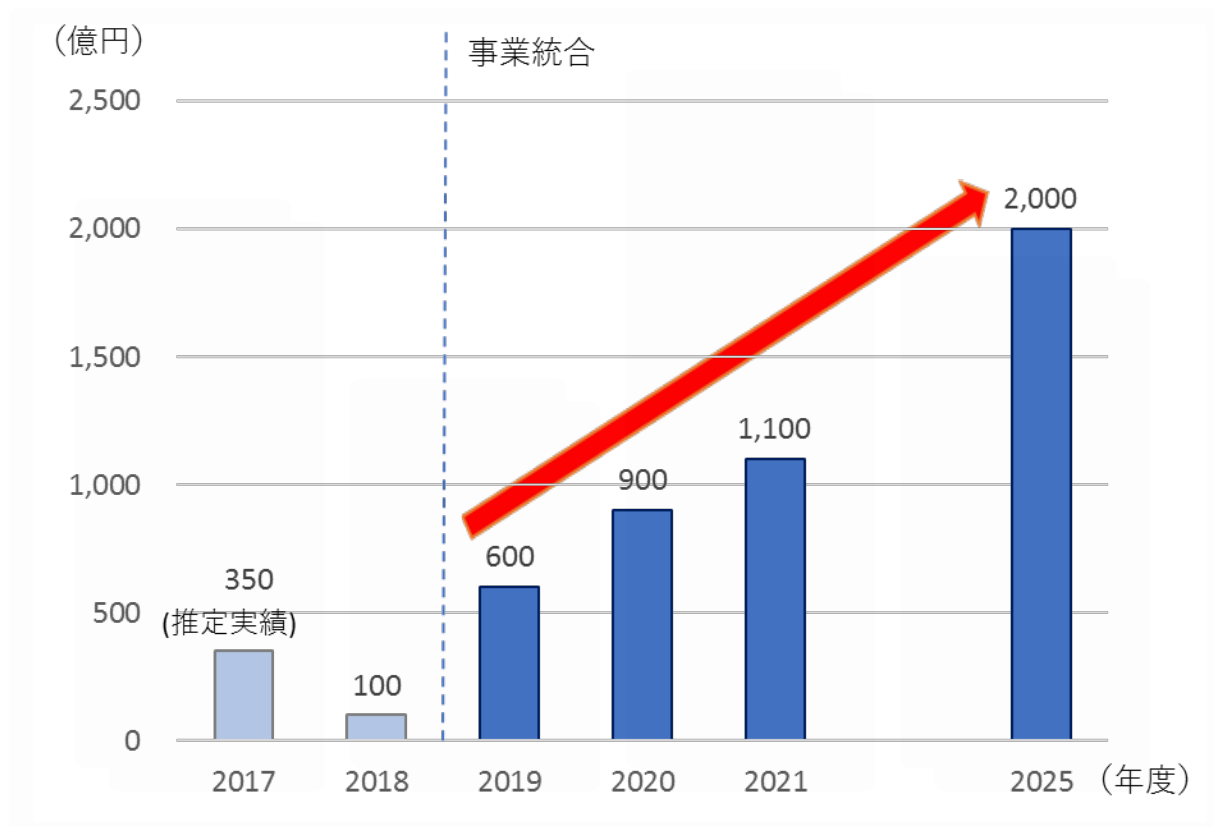
- 機能別役割分担とそのシナジーによる全体最適の実現 -



JERAの収支水準

2025年度に純利益額2,000億円程度の水準

<連結純利益額>



(注) 算定上の前提条件

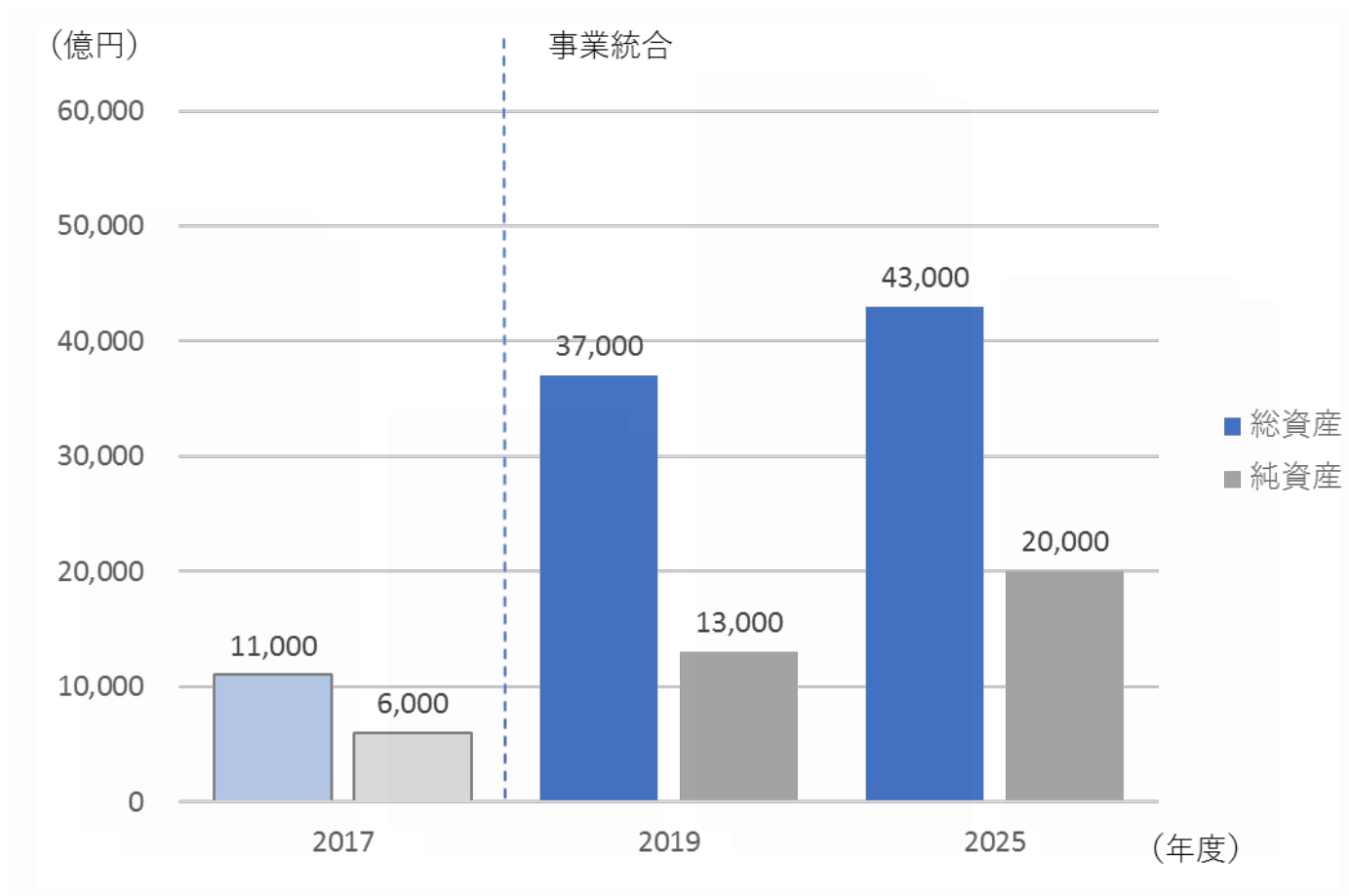
・為替レート：各年とも110円/USD

・原油価格(名目値)：2017~21年 60USD/bbl程度、2025年 105USD/bbl程度

利益を支える資産規模

事業統合により資産は大幅に増加

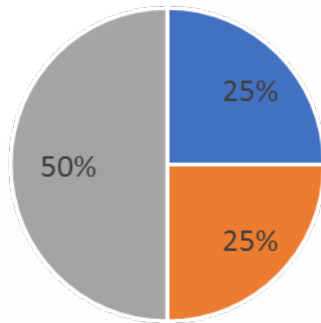
〈総資産と純資産〉



事業別の利益構成イメージ

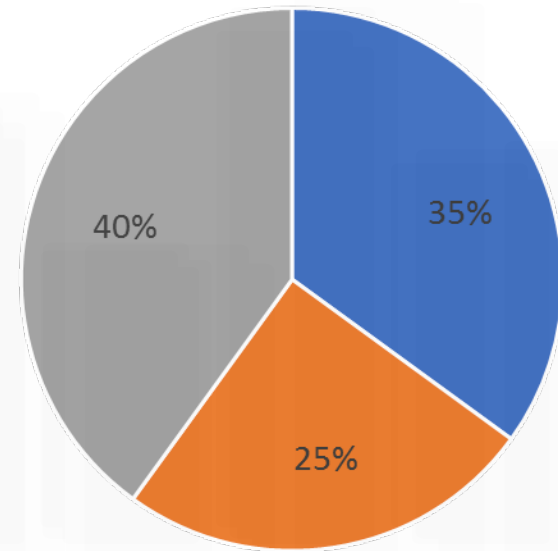
2025年度には燃料事業、海外発電事業からの利益が半分以上に

2019年度



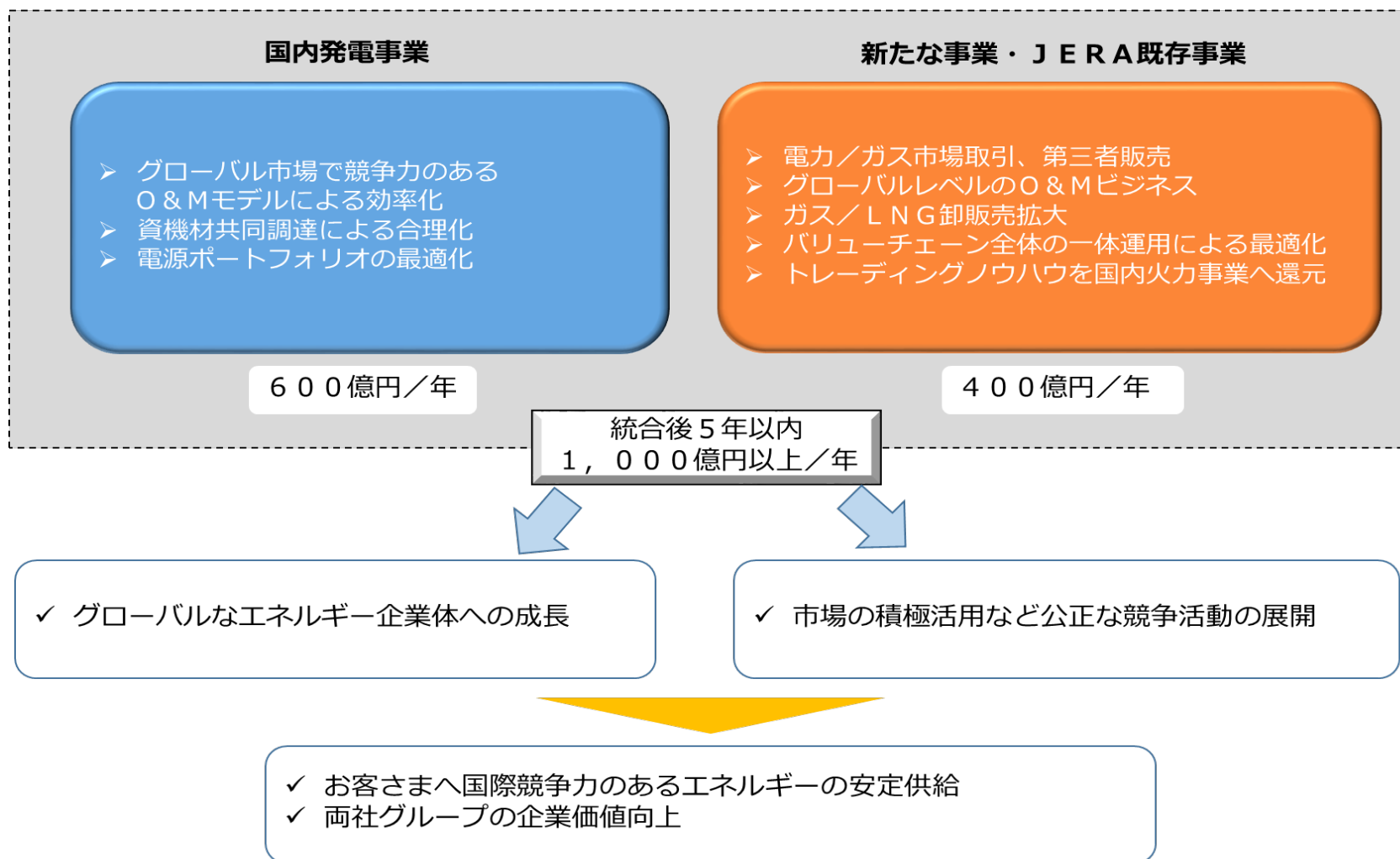
■ 燃料事業 ■ 海外発電事業 ■ 国内火力・ガス事業

2025年度



統合によるシナジー効果

統合によるシナジー効果



2025年度の姿

2025年度までに以下の姿に成長

		2018年3月時点	承継対象資産	2025年度の姿
発電事業	国内発電容量	65万kW※1	6,600万kW	新規開発 900万kW程度
	海外発電容量 (開発出力)	800万kW※2	—	1,500万kW程度
	再生可能エネルギー 開発規模（再掲）	40万kW	—	300万kW程度
燃料事業	LNG 取扱規模	3,500万t	—	3,500万t程度
	上流投資 案件数	5件	—	10件程度
	LNG 輸送船団	16隻	—	25隻程度

※1: 建設中

※2: 建設中も含む

(参考) Step2 (2016年7月) 以降の主要成果

- ① 2016.09 新たな**国内火力電源開発計画**の公表(五井、姉崎、横須賀)※1
- ② 2016.12 EDF Tradingとの**グローバル石炭トレーディング**事業の実施に係る最終合意
- ③ 2017.01 米国ニューヨーク州 天然ガス火力発電事業への参画(クリケットバレー)
- ④ 2017.02 インド **再生可能エネルギー発電**事業への参画合意(ReNew社)
- ⑤ 2017.06 R&I社より発行体格付を取得(A格)
- ⑥ 2017.10 **米国**ニュージャージー州 **天然ガス火力発電**事業への参画合意(リンデン)
- ⑦ 2017.10 マレーシアLNG社とのLNG売買に関する基本合意
- ⑧ 2017.12 EDF Tradingとの**LNGポートフォリオの最適化**の実施に係る基本合意
- ⑨ 2018.01 米国ニューヨーク州 天然ガス火力発電事業の権益の一部売却(クリケットバレー)
- ⑩ 2018.02 豪州ニューサウスウェールズ州 新規LNG受入基地の建設およびガス販売事業に関する事業性調査の覚書締結

※1: 公表以降、各地点ともに環境影響評価の手続きを実施中

(参考) 統合する対象資産

統合する対象資産		東京電力FP	中部電力	
資	火力発電事業	既存火力発電所	15箇所※1	10箇所※2
		発電容量※3 (万kW)	4,296	2,341
		発電電力量※4 (億kWh)	1,902	1,102
産	燃料受入・貯蔵・送ガス事業	LNG基地	自社基地：2箇所※5 共同基地：2箇所※6	自社基地：3箇所※7 共同基地：1箇所※8
		タンク容量 (万kL)	298	193
		払出量※4(万トン)	2,257	1,277
関係会社	子会社	6社※9	2社※10	
	関連会社	4社※11	2社※12	

※1：富津、千葉、五井、姉崎、袖ヶ浦、横浜、横須賀、川崎、南横浜、東扇島、大井、品川、常陸那珂、鹿島、広野

※2：新名古屋、四日市、知多、武豊、西名古屋、渥美、知多第二、川越、碧南、上越

※3：2018年1月1日時点の発電容量

※4：2016年度実績値

※5：富津LNG基地、東扇島LNG基地

※6：袖ヶ浦LNG共同基地、根岸LNG共同基地

※7：川越LNG基地、四日市LNGセンター、上越LNG基地

※8：知多LNG共同基地

※9：バイオ燃料株式会社、東電フュエル株式会社、東京臨海リサイクルパワー株式会社、川崎スチームネット株式会社、南双サービス株式会社、扇島都市ガス供給株式会社

※10：知多エル・エヌ・ジー株式会社、知多棧橋管理株式会社

※11：君津共同火力株式会社、鹿島共同火力株式会社、相馬共同火力発電株式会社、常磐共同火力株式会社（持分法適用会社のみ）

※12：霞棧橋管理株式会社、愛知衣浦バイオ株式会社

将来の収支水準の記述について

本資料にある将来の収支水準等に関する記述は、記述した時点で入手できた情報に基づいたものです。これらの予想・予測には、JERAを取り巻く経済情勢、競合環境、関連法規、為替レート等不確実な要素が含まれており、これらの予想・予測を覆す潜在的なリスクが顕在化する可能性もあります。したがって、将来の実際の業績・事業環境等が本資料の記述と異なったものとなる可能性があることをご承知おきください。